

あるデータベースに対して、検索語 A, B, C を組み合わせた検索式で検索を行ったところ、次のような検索件数となった。このとき正しく言えるのはどれか。

ただし、論理演算子として、and は論理積、or は論理和、not は論理差を表す。また、論理演算子の優先順位は、括弧があればその中が優先とする。

検索式	検索件数
・ A	25 件
・ B	30 件
・ A and B	12 件
・ A and C	10 件
・ B or C	41 件
・ A and B and C	4 件

1. 検索式 A or B で検索した結果は、55 件である。
2. 検索式 A not B で検索した結果は、18 件である。
3. 検索式 (A and B) not C で検索した結果は、6 件である。
4. 検索式 (A or C) not B で検索した結果は、18 件である。
5. 検索式 C で検索した結果は、34 件以上 41 件以下である。